

1. 2月全国行事

1) 省エネルギー月間

2月1日～2月28日

2. 他社の事故・災害事例から : 溶剤が染みた着衣が燃えてやけど

3. 今月のヒヤリハット

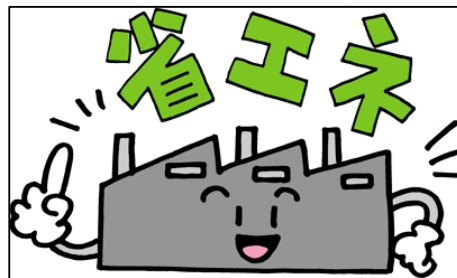
1. 2月全国行事

1) 省エネルギー月間

2月1日～2月28日

燃料資源の有効活用と地球温暖化防止に対応するためには、各分野におけるエネルギー使用の合理化をなお一層進めることが急務となっております。

特に冬季は暖房等によりエネルギー消費が急増することから、政府の省エネルギー・省資源対策推進会議が、毎年2月を「省エネルギー月間」と定め、国、地方公共団体、事業者及び国民が一体となった省エネルギーの推進を呼びかけています。



2. 他社の事故・災害事例から : 溶剤が染みた着衣が燃えてやけど

<災害のあらまし>

油性塗料を用いて建物外壁の塗装作業を行っていた作業員(男性55歳、経験25年)が、一服しようと現場でタバコにライターで火をつけていたところ、ライターの炎が風にあおられて手袋に着火して作業衣に燃え移り手と顔等にヤケドを負いました。

<災害の主な原因>

- ①手袋や作業服に付着していた塗料から可燃性の有機溶剤の蒸気が発生していたところに、ライターの火が引火したこと。
- ②喫煙の場所が決められてなく、また塗装作業中も随時喫煙していたこと。
- ③手袋や作業衣は以前から有機溶剤や塗料が多量に染みこんでいたこと、など。

<同種災害の防止対策 例>

- ①可燃性物質を取り扱う職場にライターなどを持ち込んだり喫煙をしない。
- ②喫煙や食事を行う際は、塗料等で汚染された衣類等は脱ぐ。
- ③有機溶剤の危険性や毒性、性状等を十分熟知して取り扱う、など。

※有害・有毒な物質で汚染された作業衣からは、有害物が本人の皮膚および呼吸で体内に吸収されたり休憩所等を汚染させるなど、環境を悪化させて他の人にも悪影響を与えます。

作業衣は汚さない、汚れは直ちに洗濯などで除去し、清潔な作業衣を使用しましょう。

3. 今月のヒヤリハット:各事業場より提出されたヒヤリハットです。危険予知活動に利用してください。

「一に点検 二に確認 三で見直せ もう一度」

事例	フォークリフト運転中、他の作業員にぶつかりそうになった。
どこで	工場内で。
どうしていたとき	フォークリフトで偏平缶を取りバックしようとしたとき。
あらまし	フォークリフトで偏平缶を取りバックしようとしたら、他の作業員がフォークリフトのすぐ後を歩き、通過したところであり、全く人の気配が無かったのでビックリした。
原因	フォークリフト運転中、バックの際、後ろをよく確認しなかったこと。
教訓・対策	フォークリフト運転中は前後左右をよく確認すること。

事例	集塵機室に入った時、ローラ板に足が引掛り転倒しそうになった。
どこで	工場内で。
どうしていたとき	集塵機室に入ったとき。
あらまし	集塵機室の電灯を点けようと中へ入った時、廃鉄粉の缶を降ろすローラ板がセットしてあるのに気付かず、足が引掛り転倒しそうになった。
原因	集塵機室に入った時、足もとを確認しなかったこと。
教訓・対策	集塵機室等通路でない所に入る時は、足もとを確認すること。

4. その他

<WORMBIZ> 「暖房に頼り過ぎない」「寒いときは着る」働きやすく暖かく、格好よい
ビジネススタイルで節電対策をお願いします。

安全衛生、交通安全、環境保全の標語応募締め切りは1月31日です。

「分別一つで大違い みんなの努力で環境保全」 H25年度環境保全最優秀作品